

動物病院に販路開拓

ペット分野に本格参入する医療用品メーカーのダイヤ工業（岡山市南区古新田）。犬の椎間板ヘルニア治療に使うコルセットなど3商品を開発し、今月下旬にも市場投入する。

動物病院への販路開拓を進めるため、専門の営業部も開設。ペットの長寿命化による市場の成長を見据え、事業の柱の一つに育てる考えだ。（伊東圭一）=29面関連



犬の歩行リハビリ用胴輪（右）と手術後の傷カバー（左上）。コルセット（左下）も含め動物病院に売り込んでいく

コルセットは、加齢に伴いヘルニアになりやすいミニチュアやダックスフントなど小型・中型犬用。サイズはS（1万円）とM（1万1千円）の2種類。同社は人の腰痛治療などに使うコルセットやサポーターを主力とし、主に整骨院向けに販売している。犬用のコルセットは2008年にも開発したが、軽度の腰痛用で「ヘルニア手術の直後などに使える本格的な医療用」（同社）という。

他の商品は、脚が弱った犬の体を人が引っ張り上げて歩行を補助するリハビリ用の胴輪（3千円）と、開腹手術後の傷口を保護するエプロン状のカバー（4千円）。

3商品とも、獣医師から犬の骨格や筋肉の動きを聞きながら、人の医療用品で培った関節を支える技術を生かして設計。長毛種の犬でも体にフィットするよう、形状や材質も工

長寿命化で市場成長見据え

夫した。

本格的な事業展開に向け、ペット分野を専門に担当する「第6営業部」を昨年6月に新設。現在は専従スタッフ1人だが、増員も検討していく。市場調査会社・矢野経済研究所（東京）の予測では、14年度の国内のペット関連市場は1兆4285億円で、5年前の09年度に比べ2・2%増。今後は高齢ペットの増加に伴うヘルスケア分野の拡大が注目されるとい

う。ダイヤ工業は「獣医師の要望を聞き、商品化した。動物病院や動物医療の学会などに試作品を持ち込んでPRしている。3年後にペット分野で年間1億円の売り上げを目指す」としている。

同社は1963年設立。資本金1千万円。売上高32億4千万円（14年3月期）。従業員83人（パート含む）。